



150

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年3月19日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



漫画家 ちばてつやさんの戦争体験

19日(日) = 1、3面



ロシアによるウクライナ侵攻が続いています。爆撃で破壊された市街地や、戦火の中を逃げてきたウクライナの人々の映像を見る度に戦争の悲惨さを思い知らされます。

「あしたのジョー」などの名作で知られる漫画家のちばてつやさん=写真=は、ロシア

の侵攻が始まった時、病院にいました。ベッドの上で思い出したのは、日本の敗戦後、中国大陸から日本に引き揚げる旅でのつらい出来事でした。この時、ちばさんは7歳。日本を目指す途中で、親たちから離れて残留孤児になってしまった多くの子どもたちがいた

けに、ちばさんは「決して人ごととは思えません」と打ち明けます。

池上彰さんとの対談では、大陸からの引き揚げ体験のほか、東京大空襲で亡くなった人々に対する慰霊の気持ちや、平和の大切さなどを伝える「漫画の力」について語り合います。

論点 変わらない日本

24日(金) = オピニオン面

岸田文雄首相=写真=は2月の衆院予算委員会で、同性婚の法制化をめぐり「社会が変わってしまう」と答弁して論議を呼びました。「弱者」は不当に認められて利益を得ていると考え、変革を求める動きを批判する人

たちの存在も無視できなくなってきました。こうした傾向は米国でも見られるようです。岸田政権の「変えたくない社会」とは何なのか。「変えたい人たち」を批判する背景には何があるのか考えます。



台風19号による大雨で一時水につかった北陸新幹線の車両群＝長野市で2019年11月

特集 ワイド 映画監督 内山雄人さんインタビュー

20日(月) = 夕刊特集ワイド



今月公開された安倍晋三元首相の実態に迫るドキュメンタリー映画「妖怪の孫」の監督を務めた内山雄人さん=写真=にインタビューしました。支持率に裏付けられた人気を誇った半面、物議を醸した言動を

どう映し出すのでしょうか。安倍元首相の死去で製作は一時止まりましたが、公開にこぎつけました。内山監督は「子供の未来に責任を感じている」と語り、「政治は決して人ごとではない」と訴えています。

✓ 気候変動の最新予測

22日(水) = 3面

地球の平均気温が上昇し、世界各地で洪水被害が頻発するなど、気候変動は人類にとって最大の脅威の一つとなつていきます。各国の専門家が参加する国連の組織「IPCC」が9年ぶりに公表す

る報告書を読み解き、地球温暖化が今後どう進展し、われわれの社会や生活にどんな影響があるのか、最新の予測を詳細するとともに、日本の対応策の現状を紹介します。



(渡部竜之介)

第95回記念選抜高校野球大会が開幕しました。声援もOKとなり、夢の舞台・甲子園で繰り広げられる熱戦の風景がコロナ禍前に戻ります。ご期待ください。春のセンバツ大会と夏の選手権大会をそれぞれ主催する毎日新聞社と朝日新聞社は、合同で「高校野球応援キャンペーン」を実施しています。応募締め切りは3月31日まで。奮ってご応募ください。QRからぜひどうぞ。



※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。